

湘南地区公共交通不便地域の解消のためのライドシェア実施地域の視察報告

湘南地区での交通不便地域解消のため、中島地域へのバス運行を市役所を交え検討してきましたが、民間会社との調整は採算の関係、運転手不足、バス中継場所の手当ての難しさ等様々な問題があり、なかなか進捗しない中、近年諸外国でも実施され注目もされているライドシェア方式による運用を、今後の材料の一つとして考え、この度この方式を実施している大和市へ湘南地区まちぢから協議会で視察に行っていました。

以下は、当日一緒に視察に参加したメンバーの一人のH氏が書かれたレポート(一部加筆)です。今後は、視察結果も踏まえ検討を進めていきたいと思っております。

なお、他に一緒にされた方でそれぞれの印象等もHPにお寄せ下さい。

(事務局)

<参加者レポート>

エクシード茅ヶ崎自治会 H

ライドシェア(地域乗合交通事業)実施地域の視察参加報告

目的 湘南地区公共交通不便地域の解消のための手段を検討するため。

日時 平成30年11月16日(金)

参加者 湘南地区自治会メンバー・地区社協・民生委員児童委員・まちぢから協議会
NPO サポートちがさき・市民自治推進課・都市政策課・神奈川県職員
現地集合者を含め24名

視察場所 大和市役所と「のりあい」バスの運行視察

面談者 大和市街づくり総務課の方々。

地域と市との協働「のりあい」の代表者と関係者の方々。

内容 10:00～

大和市街づくり総務課職員&地域と市との協働「のりあい」代表者の方々との質疑応答。

①本事業を計画し推進して今日まで継続していることに対する質問項目への回答。

*ワークショップ開催の重要性・利用回数、世帯数(利用者)の確認、価格の設定、
運行コースの検討、停留所の位置、ボランティアドライバー&添乗員の募集他。

*自治会と市との綿密な連携が重大

*年間利用者数・2010年(平22年) 8,672名 (36名/日)

2017年(平29年) 16,006名 (68.7名/日)

*費用・・・車と燃料費は市が協働事業として負担

*運賃・・・150円

*ドライバー、添乗員・・・ボランティア(ドライバーへのお礼で問題となる)

添乗員がいることによる安心感、その他

②実施に至るまでの経緯と経過

2007年 公共交通不便地域の解消に向け地元住民の声があがる。

2008年 地域交通創出のワークショップを開催・「乗合バス運行準備会発足」

2009年 第1回試運行(5日間)、市と地域の協定締結、第3回運行(1か月)

2010年 4月～実験運行開始(10周/日) 2011年 4月本格運行開始

2012年 車両数増1→2台 参加自治会増(7→9自治会) 運行(10→15周)

- 2013年 大和市コミュニティバス「やまとんGO」運行に向け「のりあい」の運行データ提供
- 2014年 新車両2台導入（ハイース10人乗り）
- 2015年 運行回数増（18周/日）現状と課題を整理し今後の方向について勉強会開始。
- 2016年 「のりあい」の今後に関する検討会を開始
- 2017年 勉強会等を経て運転部分をバス事業者に委託する方向で検討方針固まる。
- 2018年 4月からの入札で相鉄バスが受注し秋から試運行開始

③今後の課題（配布された資料参考）

- 1、後期高齢者が高齢者人口の50%を超えた現在、介護を必要とする状態になる前の期間を、いかに外出を継続し、健康を維持するか。
- 2、全国に例のない添乗者のいる「のりあい」部分をどうしていくか。
- 3、添乗は、話し手として支え手としての役割でしたがこれからも生かして行くか。

④「のりあい」活動のスムーズな継続に向けて

- * 地域に密着した公共交通として、更に充実させていく。
- * 市との協働事業として、住民主体の活動の充実を図る。
- * 外出支援と共に、地域コミュニティづくりの取り組みを継続する。
- * 地域が元気になり、前向きな気持ちで暮らせる取り組みをする。

11:10~「のりあい」バスの乗客実体験をして。市役所発11:10分

- ①自治会代表メンバーが中心になり7名が運行中交代で乗り込み実体験を行う。
- ②車は10人乗りでドライバー、添乗員を除き8名で定員となる。
- ③社内には降車用の押し釦がシートの背中部に設置されている。
- ④1日18便（8時~17時台）、土日祝日も運行、コース所要時間約40分 停留所24箇所。
- ⑤市役所発23箇所の個別停留所を経由し市役所に戻ってくる一方行巡回コースに試乗。
- ⑥コースは住宅街の道路幅の狭い曲がり角が多い地区を巡り安全な運転技術が要求される。
- ⑦坂道もあり乗客は高齢者が殆どのため自宅の近くを通る便利さを実感されていた。
- ⑧安全運転で乗客は非常に気楽に利用されている状況で添乗員の方も親切だった。
- ⑨体験乗車中12名ほどの乗降があり昼前の時間にしては多く感じられた。



「のりあい」バス



停留所

12:30 湘南コミュニティセンター着
「のりあい」バス乗車体験者発表 解散

視察に参加して

- ①2007年に地元住民の声があがって10年、携わってきたボランティア関係者、市職員の方々の努力と苦勞が感じられた。
- ②今年から民間会社に運行を委託することになったそうですが、今後の課題について共同作業で本事業の先駆者として更に地域と融合した「のりあい」の発展に期待します。
- ③ボランティアでドライバーを募集することは健康管理、安全面で再検討を要すると思われた。
- ④今後この視察を有効利用し湘南地区におけるライドシェアの検討を進めればと考えます。

2018. 11. 17 エクシード茅ヶ崎自治会 H